

風の記憶



甲斐市立玉幡中学校
学校だより第 1 号
令和 7 年 4 月 1 6 日
発行 樋川 和之

校訓「健やかに 智慧深くあれ」



教育目標「ふるさとを愛し、高い知性と豊かな情操、たくましい意志と
創造的な個性をもつ 心身ともに健全な生徒の育成」

具体目標 ・自律的で思考力に富む人間（知育） ・心豊かな潤いのある人間（徳育）
・たくましく実践力のある人間（意欲） ・健康ではつらつとした人間（体育）

R7年度玉幡中学校が



スタートしました！

学校を包んでいた桜の花びらが風に舞い、若葉や木々の芽に春の躍動感や息吹を感じる季節となりました。学校では、4月8日（火）に第42回入学式を挙行了しました。2、3年生全員の温かい拍手、本校の校歌「風の記憶」、そして、3年生の歓迎の合唱「空は今」により、新入生99名を迎え入れ、全校生徒328名で令和7年度の幕開けとなりました。

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。2、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。

入学式では、自分の持っている力を精一杯発揮する「自分を生かす」ことで、自分の夢や希望や目標に近づくよう努力することや、「チーム玉幡中」の生徒として、人の良いところを見つけてお互いに認め合う「人を生かす」ことで互いの良さを高め合えるような仲間作りをしてほしいという話をしました。



また、始業式では、歴史と伝統ある「玉中生」として、過去の先輩方と同じように、自分で心のスイッチを「ON」にして、「最初的一步」を踏み出すことが大切だと話をしました。玉中生全員と全ての先生方で力を合わせて、玉幡中の歴史と伝統を受け継ぐことを誇り・PRIDEとして、「玉中 PRIDE」を胸に一步ずつ頑張る努力をしてほしいと思います。



保護者のみなさま、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。私は、4月に着任しました、校長の樋川和之と申します。本校の学校経営を担当させていただくことになりました。責任の重さを感じていますが、玉幡中に過去2回、10年間教諭として勤務した経験やつながりを大切に、信頼され、期待に応えられる「誇れる玉中」となるよう精一杯努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度も「ふるさとを愛し、高い知性と豊かな情操、たくましい意志と創造的な個性をもつ 心身ともに健全な生徒の育成」を目標に、教職員一同、「チーム玉中」として力を合

わせ、生徒一人一人の豊かな成長に向けて、全力で教育を推進して参ります。教育は、学校だけでは成り立ちません。学校とご家庭、地域の方々にも、ご協力いただきながら、共に育て合うこと、共に助け合うことが、大切だと考えております。学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身につけられるのかを、皆さまと共有し、教育活動を展開して参ります。どうか、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。また、ご心配なこと等がございましたら、学校へご相談ください。

/// よろしく申し上げます 令和7年度教職員 ///

1年			2年			3年		
主 任	中島 範隆	社	主 任	信田 卓也	国	主 任	川上 美幸	社
副主任	新津 隆二	社	副 主 任	河西 修	技	副 主 任	中野 布美	体
1組担任	鈴木 佳代	音	1組担任	功刀 寛規	英	1組担任	篠原 礼哉	社
2組担任	駒井 優貴	数	2組担任	井口 雄月	数	2組担任	窪田 菜美	国
3組担任	小田切樹理	理	3組担任	土橋 詩音	理	3組担任	立澤 光祐	体
すこやか6	廣瀬 理子	社	すこやか2	小野 裕子	美	4組担任	岩本 椎菜	国
所 属	伊藤 教子		すこやか5	田中 芽唯	体	すこやか1	武山 遥菜	理
所 属	小野 京子		所 属	大森 菜華	英	すこやか4	齋藤 真弓	理
所 属	中込 諒一		所 属	平井さやか	英	すこやか3	新津美和子	英
教 務								
校 長	樋川 和之	理	教 頭	長田 道也	体	教務主任	坂本 誠一	数
所 属	堀内 浩二	英	所 属	中込 純子	家	所 属	丹沢美佐子	国
所 属	長田かおる	数	養護教諭	佐野 七帆		事務主任	内藤ひとみ	
栄養士	布施 理恵		図書館司書	近藤真由美		ALT	ジェイソン・スミス	
学力向上支援	水石 朋子		学力向上支援	塚田美由紀		スクールカウンセラー	笠井海輝斗	

学校だより「風の記憶」について

学校の校歌は、単に『〇〇学校校歌』といったものが多いのですが、本校の校歌は、「一風の記憶—玉幡中学校校歌」と校歌に、素敵なタイトルがついています。この校歌、風の記憶は、昭和60年（1985年）3月、今から40年前、篠崎淳之介先生（青森県出身、ラジオ・TVプロデューサー、劇作家、作詞家）が作詞、かいじ国体ファンファーレ作曲者でもある塩島麻美先生（甲府市出身、甲府一高、東京芸大卒、作曲家）が作曲をし、完成、制定されました。作詞をした篠崎先生は、校歌制定を記念して寄せた手紙に、「美しい自然に囲まれた竜王のたたずまいは、決して居ながらになっただけではなく、地域のことを考えてきた多くの人達の努力が秘められている。この校歌は、それらの人達の時代と共に地域の「あす」を拓きつづけた智慧と力、そしてそれらを保ちつづけた強い意志とを引き継ぎ、さらに新しい世を創り出していく智慧と力が玉幡中学校の皆さんの中から生まれてくることを願って、詞としました。」詞の心、願いをつづっています。校長が発行する学校だよりも、この「風の記憶」で出されておりますが、今年度も伝統ある、素敵な想いの込められた校歌、「風の記憶」のネーミングを継承することとします。どうぞよろしくお願いいたします。